



医療法人社団 CHCPヘルスケアシステム
洞爺温泉病院・介護医療院なのはな

とーや湖
さざなみ
通信

TOYAKO
SAZANAMI
NEWS Vol.
87

第87号 広報誌

令和7年
8月29日
発行

- P.1 施設長・副院長就任あいさつ ———— 介護医療院なのはな [施設長] 渡久山 晃
洞 爺 温 泉 病 院 [副院長] 井口 明
- P.2 〈病院機能評価の更新認定を受けました — 事務部 [部長] 種谷 浩昭
介護予防教室「げんきクラブ」のご紹介 — リハビリテーション課 [課長] 浅利 弘樹
- P.3 〈特定技能外国人材のご紹介 ———— 看護部 [課長] 浅利 亜由美
夏祭り開催案内 ————— 診療部 忽滑谷 裕之
- P.4 「北の随草録〈9〉」 ————— 薬剤課 [薬剤師] 安藤 祐子
- P.5 〈Instagram始めました
編集後記

施設長・副院長就任あいさつ



介護医療院なのはな
〔施設長〕
渡久山 晃

今年4月より、介護医療院なのはなの施設長に就任いたしました渡久山晃（とくやまあきら）です。洞爺温泉病院に勤務して約5年が経過しました。

当施設は、現在100床の療養環境を提供しております。「個別性を尊重した快適な生活の空間」として、安心して長期的な生活を送っていただけるよう配慮し、療養の質の向上に努めています。併設された洞爺温泉病院の医療資源を活かし、「日常的な医学的管理が可能な医療機関」としての役割を担えるよう日々研鑽を重ねております。そして「尊厳あるターミナルケアの充実」にも力を注いでおり、入所者の方々に穏やかに自分らしい最期を過ごしていただくことを目指し精一杯努力してまいります。

今後も地域の皆様に信頼される施設を目指し、『なのはなで療養できてよかった』と言っていただけるように職員一同精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



洞爺温泉病院
〔副院長〕
井口 明

このたび、今年4月より洞爺温泉病院の副院長を拝命いたしました井口明（いぐちあきら）です。これまで培ってきた総合診療医としての経験や視点を活かしながら、より多くの患者さまに寄り添える医療を提供したいと考えております。

洞爺温泉病院は、地域の皆さまの健康と暮らしを支える重要な拠点であると考えており、地元で根差して医療を届けるという姿勢をこれからも大切にしてまいります。病気のことに限らず、日々の体調の変化やご家族のことなど、気になることがあれば何でも気軽にご相談いただけるような相談しやすい関係を築いていければと願っております。

これからも職員と力を合わせ、地域の皆様に信頼される病院づくりに尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



病院機能評価の更新認定を受けました

事務部[部長] 種谷 浩昭

このたび、当院は公益財団法人 日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の更新審査を受審し、無事に5回目の認定の更新を果たすことができました。

病院機能評価は、患者さんに安全で質の高い医療を提供するために、医療機関の体制や取り組みを第三者が評価する制度です。当院ではこれまでも4回受審しており、5回目の更新を目指して準備を進めてきました。

受審準備は当初の担当者から途中で私が業務を引き継ぐ形となりました。時間が短く、知識が拙い中、手探りで進めたため不安を抱えたままの受審となりましたが、受審結果は前回の受審時よりA評価の数が増えました。当院職員の日常業務が評価された結果となり、医療の質が底上げされていると感じ一安心しております。

一方、審査の過程では、指摘を受けた項目が2つありました。どちらの項目も患者さんの事を考えて対策をしていましたが、第三者の目から見て適切な方法や時代に即した対応を提案していただいたと捉えて改善に取り組みました。その結果、再評価にて無事認定され、患者さんにとってもより良い安心できる対応になりました。

今回の受審を通じて、病院全体で自分たちの業務を見直す良い機会となりました。今後も、病院機能評価の理念に沿って、質の高い医療を提供できるよう努力を続けてまいります。

介護予防教室「げんきクラブ」のご紹介

リハビリテーション課
[課長] 浅利 弘樹

当院のリハビリ専門職が中心となり、洞爺地区で毎月1回「げんきクラブ」運動教室を洞爺ふれ愛センターで開催しています。今年度から、運動の強度に応じて「わいわい運動型」(軽め)と「トレーニング型」(やや強め)の2つのクラスにリニューアルしました。その効果もあり、昨年度と比べて参加人数が倍以上に増加しています。参加者同士の交流の場としても機能し、孤独感の解消や地域のつながりを深めることに「げんきクラブ」が役立っていることを大変うれしく思います。

はじめての方でも気軽に参加できる内容となっており、「ちょっと興味があるな」という方も大歓迎です。運動は無理なく続けられる工夫を施しており、終わった後には「やってよかった!」と笑顔になれること間違いありません。楽しく体を動かしながら、健康な毎日を送るためのヒントを見つけてみませんか? 今後もより充実した内容を提供できるよう努めてまいります。ご興味のある方は、お気軽にリハビリテーション課までお問い合わせください。



特定技能外国人材のご紹介

看護部〔課長〕 浅利 亜由美

6/25にフィリピンから特定技能として、ラカンドゥラ・アライサ・コロネルさんとサンゲリッド・マニリー・スミンさんが介護医療院なのはなに入職しました。これまで、インドネシアとミャンマーの特定技能人材・技能実習生の受け入れをしていましたが、フィリピンは初めての国になります。笑顔が素敵でとても明るい2人が入職してくれたことで、病棟がさらに明るくなりました。日本の文化にも興味があるそうで、夏祭りには浴衣を着て参加してくれるそうです。

コロナウィルスの流行で中止となっていた夏祭りでしたが、今年は6年ぶりに開催いたします。皆様に楽しんでいただけるような露店やゲームを企画しております。患者様、利用者様、ご家族では是非ご参加ください。

開催日時

9月12日(金)
14:00~15:30

会場

リハビリルーム

夏祭り開催
診療部 忽滑谷 裕之
洞爺温泉病院・介護医療院なのはな





「北の随草録〈9〉」

薬剤課[薬剤師] 安藤 祐子

北国の浜辺では、はまなすの花が海や空の青色に映えて輝き、短い夏の間をかけて、次々と咲いてはたくさんの実を結んでいきます。

はまなすは、日本在来の野バラの一種で、砂地に広く深く根を張り、厳しい海風や乾燥、寒さに耐えるほどのしなやかな強さを具えます。茎や枝に無数のとげを持つなど、野趣に富んだ表情を見せる一方で、葉の広がりにはバラ特有の折目正しい品性があり、花は美しく高貴な香りを放ちます。花の後に膨らむ艶やかな朱色の実^{ぎか}は偽果といわれるもので、その内に真の果実を数多く包み込んでいます。

はまなすの花の蕾を乾燥したものは、玫瑰^{まいかい}花という生薬となり、気血を巡らし、ストレスを和らげ、血の道を調える効用があり、香りも華やかであることからお茶としても好まれます。花や実^{ぎか}(偽果)はビタミンCが非常に豊富であり、さらに熱や乾燥によっても損なわれない特徴があります。ビタミンCは私たちの体内に

おけるコラーゲン生成に関わり、血管などを健やかに保つために欠かせない成分です。かつて、北国の冬はビタミンCを含む新鮮な食材の入手が難しく、本州から来た多くの和人が、越冬の際にビタミンC欠乏による壊血病^{かいけつびょう}で命を落としたとされていますが、アイヌの人たちは、冬もはまなすの花をお茶として嗜み^{たしな}、実を煮込み料理に取り入れるなどしていたため、ビタミンC不足に病むことは少なかったようです。

厳しい風当たりをしなやかに受け入れ、美しい恵みへと昇華させるはまなすの懐^{ふところ}には、今も昔も、バランスのとれた健やかさへと促す大きな愛が溢れています。

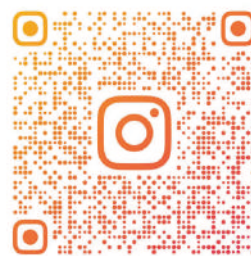




Instagram始めました

当院の日々の様子を皆さまに知っていただけるように、Instagramを開設しました。写真や動画を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

https://www.instagram.com/toya.onsen_hospital



@TOYA.ONSEN_HOSPITAL



プロフィールをシェア



リンクをコピー



【洞爺温泉病院 理念】

- 個別性を尊重した医療の提供
- 信頼されるチーム医療の実践

【介護医療院なのはな 理念】

- 利用者の個別性を尊重した、快適な生活施設
- 信頼されるチーム医療・介護の実践
- 尊厳ある看取りが行われる

<編集後記>

夏は片道45分ほど、冬は1時間ほど通勤に時間がかかります。数年前までは通勤中にアルバムやラジオを聞いて過ごしていました。その際に、ラジオでとある女優さんが「杜子春」の朗読をしているのを聞き、物語が頭にずっと入ってきたことがきっかけで、現在はAudibleにはまっています。小説は「紙が読むのが一番」という方も多いかもしれませんが、通勤時間のお供に音声コンテンツをおすすめします。(H. T)

企画・編集／医療法人社団 CHCPヘルスケアシステム 洞爺温泉病院 広報図書委員会
〒049-5892 虻田郡洞爺湖町洞爺町54-41
【TEL】0142-87-2311 【FAX】0142-87-2260
【ホームページ】<https://www.toya-onsen-hospital.or.jp>



洞爺温泉病院HP